



肝はユニット会議にあり

令和3年1月26日

そもそも会議とは・・・



その場で意見を交わして意思決定をすること

施設には様々な会議があり、目的、出席者、議題が異なります。意見交換するためのミーティングも併用している施設もあるでしょう。

施設は、多様な職種、職員がチームとなり、理念の実現に向け日々従事しています。

そのために、チームの一人ひとりが、守るべきこと、行動することを、決めるべき場所と決めるべき人の存在が欠かせません。ユニット会議も、その一つです。

職員一人ひとりの気づきを平等に汲み上げる場所なのです。

天空の杜でのユニット会議の目的とは



『共有』：情報

『共感』：分かち合う

『決定』：チームでの合意

一番の目的としているのは・・・

もちろん、入居者の満足度（意欲・喜び）を高めるため

別の視点からは・・・

よいチームを作るには、決めるべき場所の存在が大切！

会議は、職員を、組織（チーム）の一員に育てる場所

天空の杜でのユニット会議のポイント



天空の杜では、
様々な経験（失敗や成功）を経ながら、
どうすれば、意義のあるユニット会議が
開催できるかを、模索し続けています。
今日は、今、私達が目指しているユニット
会議を皆さんにお示しします。

クリアしたいポイント（初級編）



『全員出席』

介護・看護・栄養・相談・リハビリの出席は不可欠

『必須開催』

毎月定例で開催（最低限の出勤の確保が精一杯！ でも、ど根性開催）

『時間厳守』

話は尽きない。でも、時間には限りがある…次につながる終了を。

『会議録作成』

議題、意見、結論 共有と振り返りができる会議録

クリアしたいポイント（中級編）



『明確な議題』

その回で検討する議題（定例と臨時）が明確 議長は把握！

『事前準備』

議題は事前配布 参加できない職員は、予め意見を伝える

『意識集中』

入居者支援が必要な時は、周囲の応援が不可欠

『ムード醸成』

意見の相違は当たり前、次につながる意見表出

大事なことは誰のための会議？ ※職員個人の否定はNG

クリアしたいポイント（上級編）



『全員参画』

「出席」と「参画」は違います

多様な意見の表出の上に、チーム（多職種）で意思決定できれば、チーム一人ひとりの実効性は高まる

『縦の連携』

上層部への提案、折衝が必要なことは、報・連・相が不可欠
良い職場の一つの要素 ⇒ ボトムアップ
但し、意見を表出する場所は、会議が基本。